西桂町 議会だより

VOL. 56

ゴールをめざして　～町民体育祭 障害物競走～

町民一人あたりこのように使われました
平成18年度一般会計決算 3P

18年度の８会計決算額 …… 9P

一般質問（相澤議員）
農業活性化への取り組み・入札制度の見直しについて …10P

一般質問（宮下議員）
政治姿勢・三ツ峠グリーンセンターの運営・
県道・町道整備・町長公約について …… 11～12P

地域で活躍する団体を訪ねて　フラ・プルメリア　15P

Nishikatsura

平成19年11月14日発行

あなたの声を議会に！ 電話 0555-25-2121、FAX 0555-20-2015、Eメール gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jpまで
インターネットで議会を傍聴して下さい。http://www.town.nishikatsura.yamanashi.jp/gikai/

実質公債費比率、県下28市町村中、2番目に良好

一般会計賛成討論

滝口新一朗 議員

平成18年度西桂町一般会計決算は、歳入総額18億3千604万7千140円、歳出総額17億4千559万2千771円と、昨年度と比較しまして、歳入では2・0%の増額、歳出では2・4%の増額となる決算です。本決算の特徴は、実質収支額は7千216万4千369円です。数々の財政状況を示す財政力指数、経常収支比率、公債費負担比率に関しては、概ね良好であり、実質公債費比率に関しては県下28市町村の下から2番目で、非常に低水準です。この事は少ない自主財源の当町において、安易な借り入れに頼らず、堅実な行財政運営が行われた結果です。また、地方交付税が減らされていく中で、地方交付税に代わる財源確保や、町税滞納者対策、歳出削減に向けた、厳しい財政状況の中にありながらも、大規模な事業を実施する際に、財政支援があるかを精査しながら、できる限り補助事業で実施し、国公橋架替をはじめ、三ツ峠線駐車場・中学校テニスコート造成等、仕上げました。住民の行政への依存度が高まっている現状では、住民の役場への期待は大きく、評価は厳しいものがあります。創意工夫、努力により、全庁一丸となって、この難局を乗り越えていただきたい。最後に、町政発展のため、さらなる努力をお願いいたしまして、私の賛成討論といたします。

平成19年9月定例会本会議

平成18年度 一般会計決算

歳入 18億3千604万7千140円　　**歳出** 17億4千559万2千771円

強制執行の措置等を早急に講じ、不納欠損額の解消を

監査委員報告

安富英彦 監査委員

一般会計他7会計の決算審査の結果、関係諸帳簿並びに諸書類等符合し、間違いなく適正に執行されており、財務事務も正しく処理されているものと認め、今後なお一層の努力を要望しました。

監査に基づいての意見

①財政状況

財政運営の健全性を示す指標となる実質収支比率は、6・14%で対前年度比1・73ポイント下回り、今後は、予算編成時・決算見込額調査時に正確な精査を行い、健全な実質収支比率に近づけるよう強く要望しました。財政力指数は0・36%、自主財源総額は、7億1千328万6千円、歳入合計における自主財源比率は37・8%の状況にあります。自主財源の柱である町税の現年度徴収率は、対前年度比0・3%の増ですが、滞納者対策をさらに強化するよう要望しました。経常一般財源比率は、99・68%で対前年度比0・7上回っています。経常収支比率は、81・8%で対前年度比3・0上回っています。財政構造の弾力性において注意が必要される状況です。実質公債費比率は、8・02%、18%以上では地方債の発行に国の許可が必要となり、25%以上では一般事業等の起債が制限されます。

②町債残高

平成18年度町債残高は、一般会計と特別会計を合わせて36億2千71万4千円で前年度と比べ3千400万2千円増加している。財政上厳しい状況にあります。

③町税

調定額に対する収入率は89・09%で、対前年度比0・04ポイント上昇していますが、強制執行の措置等を早急に講じ、不納欠損額の解消に、全職員が一丸となってあたることを強く要望しました。

④性質別歳出の状況

人件費・扶助費・公債費で3・9%増、国公橋架替・三ツ峠線駐車場造成の補助事業は増加したものの単独事業の抑制により2・8%減少しました。総体的には歳出の抑制が図られた決算となっています。

⑤特別会計

A 国民健康保険特別会計

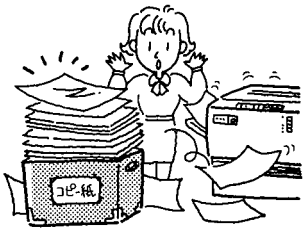
国保税収入率は前年度比2・4%の減少です。財源確保の上からも、収入未済額の縮減は健全な財政運営のためにも重要な課題であるため、引き続き滞納者に対する積極的な納税指導や実態調査

町民一人あたりこのように使われました

平成18年度
一般会計決算

その他
5万6千877円
維持補修費、積立金
繰出金、投資出資金等

物件費
7万8千267円



事務経費一般、臨時職
員賃金、業務委託料等

人件費
7万2千693円

主に常勤の職員の給与
町長、議員及び
各種委員等の報酬

公債費
4万2千014円
（うち国・県が賄う額　1万2千446円
実質一人あたり　2万9千568円）

毎年度、償還すべき
町債の元金、利子

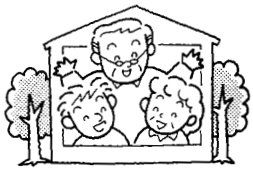
補助費等
5万0千667円

他市町村との広域業務
負担、各種団体への
補助等

投資的経費
3万5千006円

大型備品の購入
町道水路
建物の建設　等

扶助費
2万2千914円



施設措置費、福祉手当
医療費助成、敬老年金

町の借金

町の総額
36億2千071万4千円
（2特別会計を含む）
（簡易水道特別会計
下水道特別会計）

町民一人あたり
74万3千473円
（うち国・県が賄う額　53万8千489円
実質一人あたり 20万4千984円）

町の貯金

町の総額
14億6千187万7千円
（土地を除く）

町民一人あたり
30万0千180円

を行うなど滞納整理に取組み、収入未済額の縮減に向け不断の努力をされたい。不納欠損処分については、今後も税の公平負担を期するうえからも、徹底した調査を行い、厳正に対処されたい。

B 介護保険特別会計

介護保険料の収入未済額の増加は、今後の財政運営にも影響を与えることになるので、収入未済額の縮減に努められたい。

C 三ツ峠グリーンセンター事業特別会計

一般会計からの繰入金は、878万3千円となっている。早期に指定管理者制度を導入し、効果的で効率的な管理運営に努められたい。

D 下水道特別会計

下水道は順次供用開始となるので受益者への啓蒙を行い、加入世帯の増加を図る策が必要です。

受益者負担金収入未済額は、前年度比62・33％の増加です。負担の公平を期するため、収入未済額の解消に努められたい。

税の公平性という意味でも、未収金の回収に努力を

公図をパソコンに取り入れ　9月定例会・連合審査会

児童手当は小学校修了まで

（平成18年度一般会計決算）

税の徴収対策

問　具体的な徴収対策は。

税務課長　平成19年度は、滞納者一人一人に対して行動予定を立て対応している状況です。一人一人の財産状況を調査し、第三者からは消極的に見える5年の時効を極力排除し、徴収するという姿勢で現在事務を進めています。県下の市町村においても収納率の向上は大きな課題であり、平成19年度からは、県下の全市町村が参加して研究協議会を立ち上げている状況です。

問　未収金の対応について町長のお考えは。

町長　県でも、県民税というものがあり、市町村に徴収を委ねていますが、県税の収納率を上げるために市町村と協働する機会もあります。そのような機会を通じて、対応を強力に進めて行きたいと思います。税金の公平性という意味でも、努力してまいりたいと思います。

意見　未収金の回収に努力をお願いしたい。

児童手当

問　小学校終了前特例給付負担金、小学校修了までの該当者数、金額は。

住民福祉課長　第1・2子の0歳から3歳未満が月額1万円、3歳以上が月額5千円。第3子以上は全て月額1万円です。年3回に分けて交付しています。4月1日現在の人数は3歳未満が119名、3歳以上小学校修了までが557名、計676名です。

問　農業委員会県交付金が昨年より減少した理由は。また国土調査事業補助金についての説明を。

企画振興課長　三位一体改革の税源移譲の関係で農家数割・農地面積割等が市町村に入ることになり交付金が減少しました。国土調査事業は、地籍調査が終わり、その公図を、今まで紙で出していましたが、パソコンに取り入れました。

パソコンに取り入れられた公図

問　合併浄化槽設置補助金について説明を。申請は何件で、一件いくら位か。

住民福祉課長　5人槽が5基、7人槽が5基、合計10基です。国が1／3、県1／3で、5人槽については34万2千円、7人槽については、41万4千円の1／3が国と県から補助されます。

問　下水道の設置をしていない地域で、新築等する場合に補助金は出ますか。

建設水道課長　下水道の認可区域については、下水道で補助金が出ますが、それ以外の所では住民福祉課での補助金になります。

いきいき健康福祉センター

問　いきいき健康福祉センター共同経費社協負担金の算定基準の明細をお知らせください。

住民福祉課長　ガス料金

9月定例会　審議案件

【条例】3件

◎平成19年10月1日から平成23年7月10日までの間における西桂町長の給与の減額に関する条例の制定について　（賛成全員）

○本年10月1日から平成23年7月10日までの間、10・34％、月額6万円の減額を定めた条例の制定をするものです。

◎郵政民営化法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について　（賛成全員）

◎西桂町地区集会場の設置及び管理に関する条例の制定について　（賛成全員）

○各公民館は町の公共施設ですので、設置及び管理に関する条例の制定を行うものです。

【議決案件】1件

◎市道認定について　（賛成全員）

○都留市より、西桂町地内の道路を市道認定したいとの依頼がありました。行政区域外の路線認定については、該当市町村の議会の議決を得る必要がありますので提案をするものです。

【承認】1件

◎平成18年度西桂町簡易水道特別会計継続費精算報告書の報告について　（承認全員）

【補正予算】3件

平成19年度各会計補正予算

○別記説明

【決算】8件

平成18年度各会計決算

○別記説明

休日夜間救急医療、第一次（軽症）と第二次（重症）

第二次、富士吉田市立病院・日赤病院で、19,869人（富士五湖広域）

・コピー代・水道料・清掃委託・電気料・電話料・灯油代・ろ過器の補修代、そのうちコピー代は、社会福祉協議会が25％、電気料・電話料が50％、その合計が３１９万３千３１５円です。

意見 社会福祉協議会は１つの独立した法人です。町から、社会福祉協議会の運営に補助金を出していますので、社会福祉協議会の企画に積極的に参加して、社会福祉協議会の活動に理解をしていただくよう周知をしていただきたい。

意見 業務系ネットワーク運用経費等の経常経費が、財政をひっ迫しますので、出来るだけ経常経費の縮減を考えていただきたい。

意見 合併問題のしっかりした判断材料を用意する必要があると思います。事前に事務を進めていただきたい。

問 住基ネットワークシステムの利用状況は。

住民福祉課長 住基ネットワークシステムは、全国各市町村を結ぶネットワークシステムです。住基カード発行は現在14件、平成18年度中は４件発行がありました。

意見 ライオンズクラブでは、30周年記念に軽自動車１台を寄付しております。また40周年記念には、西桂町のための寄付を考えているようです。

意見 良い意味で、内容を精査して、町民の皆さんに説明ができて、今の様な温かみのある保育所の運営が出来るように頑張っていただきたい。

問 富士北麓休日夜間急患診療体制について説明をお願いします。

住民福祉課長 休日夜間救急医療は、第一次と第二次があります。昨年度は、第一次の在宅当番医へ行く件数は、休日の昼間が４９５件です。また、比較的重症の第二次救急は、富士吉田市立病院、日赤病院で、１万９千８６９人です。

意見 犬猫死骸処理で、地域から要請が無くても、気がついたら処理をお願いします。

意見 猿等の捕獲を強力に進めていただき、下暮地や倉見の遊休農地を有効に活用出来るように努力をお願いします。

企画振興課長 平成19年度は、５万円を限度額として、柵の補助をしています。

意見 高齢化になりますので、出来るだけシルバー人材センターの有効活用をお願いします。

意見 きれいな状態で町民グラウンドを町民等が使用出来るように管理をお願いします。

意見 しっかりエレベーター点検をしていただき事故の無いようにお願いします。

見事なパラバルーン　～保育所運動会～

［同意案件］３件

◎教育委員選任につき同意を求める（全員同意）

小林栄明 委員

◎教育委員選任につき同意を求める（全員同意）

相澤十四朗 委員

◎教育委員選任につき同意を求める（全員同意）

前田親保 委員

９月定例会は平成19年９月14日に招集され、同日に本会議、この後会期中に連合審査会、本会議が開催され、15日間の会期をもって、28日に閉会いたしました。

町長より議決案件１件、条例３件、承認１件、補正予算３件、決算８件、同意３件が提案され、全ての議案が原案のとおり可決・承認・同意されました。

国保税、未収金を少しでも減らすように
未納者には、10割負担の資格証・短期証を発行
居宅介護住宅改修、本人負担１割、限度額20万円

９月定例会・連合審査会

国民健康保険の啓発を

（平成18年度国民健康保険会計決算）

問 国保が成り立たなくなると困りますので、不納欠損、未収金を少しでも減らすように努力を。

住民福祉課長 国保税の未納者には、10割負担の資格証発行、短期証発行をしています。税務課と協力する中で徴収に励んでいきたい。

問 国保啓発事業で、パンフレットなどを全戸に配布していただき、皆さんに国保を理解してもらうように努力していただきたい。

住民福祉課長 パンフレットを活用いたしまして啓発をしていきたいと思います。また、保険証の更新の際に分かりやすいものがあれば配布したいと考えています。

社会福祉協議会の利用を

（平成18年度介護保険会計決算）

問 主治医意見書作成事務手数料とは。

住民福祉課 西桂町・富士吉田市・忍野村・山中湖村で審査会を運営しています。主治医意見書は、かかりつけ医に意見書を提出していただく料金です。

意見 西桂町社会福祉協議会を、なるべく利用していただきたい。

問 居宅介護住宅改修の利用件数は。

住民福祉課長 本人負担が１割で、限度額が20万円です。利用件数は10件です。

問 施設入所は何名か。

住民福祉課長 ３月末で24名入所しています。

問 施設入所待ちは何名か。

住民福祉課長 約20名です。

サービス低下のない経費節減を

（平成18年度三ツ峠グリーンセンター会計決算）

意見 指定管理者へ良い形で引渡しができるように頑張っていただきたい。

意見 燃料費が３００万円ほど上がっていますが、サービスの低下の無いように経費の節減をお願いします。

企画振興課長 循環をしますと温度が冷めないので燃料費の節減になります。５時以降の夜間割引には、利用客も増えていますので、お客さんの確保に努めていきたい。

意見 お客さんが多く来てもらうように、なお一層の努力をお願いします。

企画振興課長 今後もお客さんの確保に努めてまいります。

ふれあいゲートボール（グリーンセンター）

笑顔での健康診断

良質な水を安定供給するように
水道管路台帳記載の石綿管、取替終了

水道料金値上げは必要だが現状維持を
（平成18年度簡易水道会計決算）

問 災害時の水道保有、国の基準は何時間ですか。

建設水道課長 災害等あった場合、電気が止まっても、国の基準13時間だけは持つように2基のタンクを設置しています。

問 水道料金の見直しの考えは。

建設水道課長 今は50円×1・05＝50・25円です。独立採算制にするのであれば、75円×1・05＝78・75円必要です。今のところ値上げは難しいと考えています。

問 漏水を、なるべく減らしてもらいたい。今の水道タンク2基、13時間供給で十分ですか。

建設水道課長 計画では、2基のタンクで十分だということになっています。30％の漏水については、本管の漏水ではなく、個人の取入部分が殆どではないかと思います。修繕工事等で分かり次第改善していきたい。

意見 良質な水を安定供給するように、なお一層の努力をお願いします。

問 簡易水道特別会計が大変厳しいとは十分認識しています。しかし、下水道料金へ影響しますので、水道料金値上げは当分現状維持で、下水道が整備されてきてから見直しを考えていただきたい。

町長 町で勝手に値上げをすることも出来ません。水道問題の審議会等行いながら相談させていただきます。ご理解をお願いします。

問 石綿管の取替えは。

建設水道課長 管路台帳に載っている石綿管は、今年の8月までに全部取り替えました。台帳に載っていないものについては分かり次第改修します。

意見 石綿管は漏水の可能性も高いので的確に処理をお願いします。

下水道未接続でも受益者負担あり
（平成18年度下水道会計決算）

問 下水道供用開始区間では、下水道に接続しなくても、受益者負担は収められていますか。

建設水道課長 接続しない方には受益者負担が発生し、12年間かけて支払っていただいています。未収額は、督促状を出し職員が直接お願いに行っています。

意見 未収金をできるだけ少なくしていただきたい。

意見 下水道事業の半分は国で負担し、残りの半分に対して90％までは起債を認めてくれる。事業費の10％のお金があれば事業ができます。90％までの起債の内45％は、後で国が面倒をみます。残りの55％は町でというように国主導で行っている事業です。償還額が多くなりますが、45％は国で交付していただける。そのようなことを活字にして書いていないと分かりにくいと思います。その辺については。

建設水道課長 起債の交付税算入についての説明は、今後検討させていただきたいと思います。

問 起債償還の見通しについて、防衛施設局により事業費の6割を補助で、2基のタンク等の工事を始めました。残りの4割は地方債で対応したので、毎年約1千700万円を、平成48年まで返していかなければならない。平成48年度で償還終了ですか。

建設水道課長 平成18年度に借りたのが最後で、30年間で支払いします。災害等が無い限りは、平成48年度で終了します。

13時間保有２基の水道タンク

９月定例・補正予算の主な内容

9月定例・補正予算		
会　　計	補　正　額	補正後の予算総額
一　般　会　計	1千348万5千円	17億9千936万9千円
国民健康保険特別会計	191万1千円	4億8千081万1千円
介護保険特別会計	1千106万6千円	2億0千493万6千円

補正予算の主な内容		
一般会計補正予算（第３号）　賛成全員	○町長給料等と町長交際費を減額	△１２１万０千円
	○公有財産管理台帳整備委託費の追加	２６５万７千円
	○標準宅地評価等鑑定調査委託費の追加	２１０万５千円
	○自立支援費支払システム整備費の追加	１８６万２千円
	○木造住宅耐震改修補助金の追加	１８０万０千円
	○その他	６２７万１千円
国民健康保険特別会計補正予算（第１号）　賛成全員	○退職被保険者等償還金	１６９万８千円
	○その他	２１万３千円
介護保険特別会計補正予算（第１号）　賛成全員	○国・県・支払基金の精算返還金	７６３万２千円
	○その他	３４３万４千円

小学校体育館、県が現地視察
県消防団員操法大会に出場

川村町長
行政報告

小型ポンプ操法の部に出場した西桂消防団

コミュニティづくり

「地域内交流の促進」については、８月４日に、富士山クリーン作戦として、グリーンセンター周辺及び三ツ峠登山道等を清掃していただきました。

育ち学ぶ環境づくり

「教育施設の充実と地域開放の推進」ですが、小学校屋内運動場建設事務については、県学校施設課の現地視察が行われ、建設に向けての指導を受けました。

続いて、**「個性を育む学校教育の推進」**についての「英語助手の活用」ですが、ダニエル先生の後任としてアメリカ合衆国よりナンシー・リー先生が着任しました。

続いて、**「地域ぐるみの青少年育成活動の活性化」**についてです。

町民会議では見守り隊の体制づくりを行い、ユニフォームを整えて登下校時の見守りを行います。

続いて、**「生涯学習機会の拡充」**については、夏休み中の体験活動事業で砂金採りなどの８教室を開催しました。

活力づくり

「三ツ峠グリーンセンターにおける交流拠点の形成」です。現在は、早期に指定管理者に移行できるよう、事務を進めているところです。

都市づくり

まず、**「狭隘な道路及び橋梁の改良・整備」**については、県事業として実施している県道富士吉田西桂線については、10月には用地に関する説明会を予定していると報告を受けています。

続いて、**「一般木造住宅の耐震診断事業」**については、今年度は５戸を対象とした木造住宅の耐震診断を予定しており、対象家屋を募集しています。また、診断数値の低い民間木造住宅の耐震改修補助事業として、交付要件に合った家屋については補助金を交付したいと考えています。

続いて、**「地域防災の推進」**についてです。第43回山梨県消防団員操法大会では、山梨県消防学校グランドにおいて西桂町消防団が小型ポンプ操法の部に出場しました。

参加と連携づくり

まず、**「国際交流の推進」**についてです。８月７日から３泊４日で環太平洋学生キャンプ事業が実施されました。また、中国桂林市霊川県との国際交流事業につきまして

平成18年度の８会計決算額

会　計　名	歳入歳出決算差引	繰越明許費繰越額	実　質　収　支　額
一　般　会　計	**9千045万4千369円**	**1千829万0千000円**	**7千216万4千369円**

（活・活重点施策区分）［主な事業と決算額］　　（歳　出　総　額）（カッコ内予算計上額）

○自然との共生づくり　　1千966万1千円（2千060万2千円）
ゴミ収集事業［14,991千円］、合併処理浄化槽設置整備補助事業［3,780千円］

○コミュニティづくり　　1億1千401万６千円（1億1千955万2千円）
各種保健事業［25,669千円］、延長保育事業［4,690千円］、一時保育促進基盤・障害児保育事業［2,624千円］、
児童館開放［5,332千円］、地域包括支援センターの設置［8,020千円］、高齢者生きがい対策事業［5,202千円］、
障害者自立支援給付事業［58,215千円］

○育ち学ぶ環境づくり　　4千743万0千円（4千919万2千円）
中学校施設等整備事業［24,166千円］、小学校施設等整備事業［1,055千円］、インターネット情報教育の推進［13,688千円］
英語助手の活用［4,098千円］、生涯学習事業［1,450千円］

○活力づくり　　4千411万8千円（4千604万0千円）
商工会補助［5,500千円］、織物工業協同組合・糸の音会補助［3,500千円］、
三ツ峠グリーンセンター運営管理事業［31,290千円］、農林漁業体験交流事業［1,714千円］

○ふるさとづくり　　332万0千円（345万7千円）
桜の里管理事業［1,144千円］、保全松林緊急保護整備事業［2,176千円］

○都市づくり　　2億8千354万1千円（2億9千643万7千円）
町単道路整備事業［67,324千円］、町単道路整備計画事業［8,141千円］、公営住宅整備事業［3,228千円］、
西桂町簡易水道整備事業［77,808千円］、西桂町公共下水道整備事業［121,163千円］、防災体制整備事業［2,992千円］

○参加と連携づくり　　6千511万7千円（6千564万0千円）
国際交流［3,207千円］、業務系ネットワーク運用事業［34,207千円］、職員系ネットワーク運用事業［11,565千円］、
行政間ネットワーク運用事業［5,045千円］、ふるさと夏まつり事業［3,500千円］、情報公開事業の展開［6,978千円］

会　計　名	歳　入　総　額	歳　出　総　額	歳入歳出決算差引
国民健康保険特別会計	4億4千903万2千922円	4億3千384万7千896円	1千518万5千026円
老人保健法特別会計	3億7千985万6千612円	3億7千409万1千998円	576万4千614円
介護保険特別会計	2億0千887万4千191円	1億8千687万6千311円	2千199万7千880円
介護予防支援事業特別会計	35万8千000円	19万8千500円	15万9千500円
グリーンセンター特別会計	6千115万8千846円	5千749万8千873円	365万9千973円
簡易水道特別会計	1億7千071万8千180円	1億6千521万9千369円	549万8千811円
下水道特別会計	2億5千583万6千608円	2億4千913万1千146円	670万5千462円

は、10名で８月16日から４泊５日で訪問してまいりました。今回は、初めて中学生４名が同行し、学校教育施設、歴史博物館、家庭訪問等の視察をしてまいりました。

続いて、**「町民主役の体制整備」**については、町民の皆様が「ふれあいや語らい、さらには安らぎ」などを実感できる多目的サロンの設置をするため、町民の皆さんのご意見がより反映される形での（仮称）「西桂町民サロン整備促進委員会」を創設し、立案段階からの町民参画により、町民と一体となった元気で明るいまちづくりの推進及び町民の自立の精神、互助の精神を盛り上げて地域力あるまちづくりの推進が図れるものと考えています。

最後に、公約２件及び、県の事務連絡体制の不備に伴う１件の行政報告を申し上げます。まず、**大型の町長公用車廃車**については、売払いも済み、代替車であるハイブリッド車を11月納車の予定で進めています。大型４ＷＤ車から軽自動車への変更と合わせ、経費削減と環境への配慮が図れました。

続いて、**入札制度の見直し**は、予定価格の事前公表を実施し、契約の透明性の確保と競争性の向上を図ったところです。

続いて、**平成14・15年度の国保財政調整交付金が過大に交付されていた問題**については、原因は交付金申請時に使用する数値について、県の指示ミスがあったわけですが、申請者は市町村長のため、当町においても国に対し今年度中に９２６万円の返還が求められています。返還方法は基金を取り崩して返還するか、あるいは県が創設する無利子貸付制度を利用するかの方法になろうかと思いますが、国保運営協議会等関係機関のご意見を賜り、国保財政に影響がないよう事務を進めてまいります。

一般質問 地域資源を生かした農業振興、高齢者の生きがい対策と地産地消促進は

今年度より、鳥獣害対策の補助条件緩和

相澤力造 議員

問 農業活性化への取り組みは

答 まず鳥獣被害の減少が最優先

問 近年、我が国の農業は中国を中心とした農畜産物等の輸入拡大や、全国的な高齢化による後継者不足等から、その活力は年々低下しつつあり、食糧の自給率も40％を割り込む状況にあります。当町におきましても、鳥獣被害の拡大等もあり、遊休農家も年々増加しており、全体的に農業離れが進んでおりますが、当町には東京都と中央高速道路により短時間で直結されている立地条件と、三ツ峠の麓に位置する魅力ある様々な観光資源にも恵まれております。こうした地域資源を活用した農業振興とともに、高齢者の生きがい対策や所得向上にも期待できる地産地消のための学校給食での活用に対する補助制度の導入も視野に入れた農業活性化についての取り組みについて、お尋ねいたします。

町長 農業活性化については、16名の農産物生産者協議会により、毎週日曜日に実施している朝市やさくら祭り、ホタル祭り、味噌博覧会での即売会、また、冬菜祭りや漬物野菜祭りなど独自の活動もしており、町民及び消費者への「安心・安全な野菜」、「地産地消」を提供しております。

また、農業生産団体を組織し、遊休農地の解消を図るため東京の業者と連携して都市住民に農業体験の場を提供する活動として、植付けから収穫に至る一連の作業を都市住民に体験していただく事業を展開しており、町は業者や農業生産団体への遊休農地の斡旋紹介等を行い、町の観光のＰＲも兼ねた事業展開をしております。

ただし、生産者も高齢などにより会員数などが減少しており、直売などでは需要過多気味になっている現状もあり、後継者や新規就農者などの育成が課題となっております。

現在、農業離れの1つの要因として鳥獣被害があり、耕作地があり耕作意欲がある農家も農業ができない現状です。農業活性化のためには、まず被害の減少が最優先だと考えております。

今年度より、鳥獣害対策の補助条件を緩和し、予算を増加して自給農家でも補助を受けやすい体制づくりを進めており、来年度以降も新しい補助制度の確立を視野に入れて検討していく所存です。

学校給食については、現在でも生産者組合により食材の提供として、ジャガイモや冬菜等を出荷しております。

問 入札制度の見直しについて

答 一般競争入札、平成20年4月から

問 今年度、山梨県では一般競争入札の対象範囲を1億円以上から3千万円以上に拡大し、1千万円以上でも一部試行します。当町では、発注予定価格の入札前公表は平成19年10月より、また、一般競争入札は平成20年10月からとされております。不祥事防止と事業費削減へ向けた具体的な取り組みについて伺います。

町長 本年度より現場説明会の廃止や、入札の経過及び契約の締結内容のホームページでの情報公開に加えて、入札制度の改善を図り、予定価格の事前公表を行ってまいりました。これにより、一層の公平性・透明性・競争性の確保を図ることができました。

今後は、一般競争入札を平成20年4月から取り入れていくよう規則等の整備をし、不祥事や不正行為等の防止と事業費削減に向け取り組んでまいる所存です。

鳥獣害防護柵

一般質問

町の将来を見据えた独自のお考えは

“「ふれあい」と「語らい」のあるガラス張り町政の推進”実現へ

宮下友義 議員

問 町長の政治姿勢について

バランスのとれた、住み良い町づくりを

問 町の将来を見据えた独自のお考えがあるのかお聞かせ願います。

答 町長 私は地方行政に長年従事いたしました経験を十二分に生かし、西桂町第４次長期総合計画の基本構想、基本計画に基づき、環境、福祉、教育、文化、産業等、様々な行政課題に柔軟に対応し、バランスのとれた、住みよい町づくりを推進してまいる所存です。私が町政に取り組む基本的な姿勢は、〝「ふれあい」と「語らい」のあるガラス張り町政の推進〟ということで、町民の皆様の思いをしっかり聞き、限られた財源の中から必要な施策を創出してしっかり実行してまいる所存であり、そのことが町民の皆様との信頼関係に繋がるものと考えております。

また、〝「ふれあい」と「語らい」のあるガラス張り町政の推進〟実現のための政策推進指針を職員に提示する中で予算編成を行い、平成20年度当初予算にその実施計画を反映させて議会並びに町民の皆様方にお示ししたいと考えております。

ひよこ学級　さつま芋掘り

問 今後のグリーンセンター運営について

指定管理者制度への移行を進める

問 三ツ峠グリーンセンターは、町民の憩いの場として多くの方々が利用され、収益も徐々にではありますが改善されており、来場者には大変喜ばれています。先に指定管理者選定委員会を立ち上げましたが、不幸にして指定管理者を選定するまでにはいかず、これからは、適切かつ良好に管理運営されなくてはならないと思うわけですが、町長のお考えを伺います。

答 町長 指定管理者選定委員会の答申により、審議された1社については、各委員の評価の差異、他市町村での事例を考慮し、複数社において比較検討することが町民利益に繋がると判断し、再募集を行うことが望ましいと決定されました。民間企業のノウハウを取り入れることにより、同施設がさらに活性化され、住民サービスや福祉の向上を希望します。今後の予定といたしましては、来年４月には指定管理者制度による民間企業への移行を進めていく所存です。

いずれにいたしましても、今後も議会及び指定管理者選定委員会や関係者等と十分協議して事業展開を図ります。

環太平洋学生キャンプ

問　県道の建設と町道の整備について

答　安全で快適な道路整備に努める

問　安心安全なまちづくりの基本は、道路の整備が第１ではないかと思います。町の主要道路は国道１３９号１本のみで、富士吉田・都留市方面に行くにも大変な混みようで、特に朝夕のラッシュ時には目に余るものがあります。この件で前知事に直接お願いした経緯があり、県道富士吉田西桂線道路整備計画ができてはおりますが着工までには至っておりません。地権者や関係者のご理解のもと、この県道の１日も早い完成を願うとともに、町道の整備をも心がけ、交通の融和が図られ、安心安全の生活が保たれますよう願い、町長のお考えを伺います。

町長　私も地域の発展や活性化について、道路整備が欠くことのできない重要な基盤だと考えています。優良企業の誘致にしましても、道路整備がなされていないと誘致に大きな支障をきたします。また、国道１３９号の渋滞解消並びに有事の際の避難路の確保については、当町にとって長年の懸案事項でありました。今回事業化されている県道富士吉田西桂線の整備については、関係者や地権者の皆様にはご理解とご協力を賜り１日も早く完成することを切に望んでいます。県道の整備では、西桂地内はもちろんのこと、富士吉田市の幹線道路から西桂町を通り都留市の幹線道路までの整備が早急に進むよう、県及び関係市町村に働きかけていく所存です。また、町道の整備については、県道の整備計画をもとに県道に接続する町道については、今まで以上の機能が保たれるよう県に働きかけ、必要であれば町独自で整備したいと考えています。また、主要な町道の整備は、国道や県道の整備状況を勘案しながら拡幅等を実施し、安全で快適な道路整備に努めてまいる所存です。

問　多目的サロンの設置について

答　町民による手づくりの「町民サロン」の設置へ

問　多くの自治体で相当な財力をつぎ込んで文化会館や美術館等を建て、維持管理には大変な金がかかり、後々苦労されていると聞きました。町の財政も厳しく、これから小中学校の体育館の建設、下水道の整備等、多くの資金の必要とされる中にあって、多目的サロンの設置にどのように対応されるのか、町長のお考えを伺います。

町長　「町民サロン」の設置は、多くの町民が期待をしている多目的施設であり、設置に向けて取り組んでまいります。

「町民サロン」の設置は、役場東別館を改修し、地域住民が気軽に立ち寄ったり、絵画や手芸品など町民の作品を展示できるコーナーや行政資料の開示、各種ボランティア活動の拠点、行政の各種相談業務、さらには「ふれあい談議」のできる場として活用し、「ふれあいや語らい、さらにはやすらぎ」などが実感できる情報交流のできるコミュニティ施設として活用していただく考えです。

一般公募による町民の参加とご協力をいただき、町民による手づくりの「町民サロン」の設置に向けて進めていく所存です。

県道富士吉田西桂線

現在の役場東別館

一般質問のその後
あの質問はどうなったずら

平成18年９月定例議会

質問

体育館建て替え事業の基本的な取り組みは

当町の小学校・中学校体育館についての耐震診断調査測定によりますと、基準に満たない測定結果が診断されています。また、東海地震など大規模災害の際に避難場所として利用されることが想定されるので、厳しい財政状況にあっても、耐震化率１００％に、一日も早い完全な施設が不可欠と考えます。

体育館建て替え事業についての基本的な取り組みについてお伺いします。

答弁

小学校を平成20年度、中学校は平成21年度を予定

平成17年度、耐震診断・耐力度測定測定結果によると両学校の屋内運動場共に文部科学省基準の耐力度性能を下回っていました。建物全体としての耐力向上が見込めないことから、補強工事は現実的ではないと判断し、小学校を平成20年度、中学校は平成21年度を予定しています。両学校の屋内運動場は、社会教育の場所と非常災害時の点を考慮し、効果的な建物にしたいと考えています。

現状

小学校体育館、県の現地視察実施

平成19年度予算に、屋内運動場設計委託を計上しました。小学校屋内運動場建設事務については、県の現地視察が行われ、建設に向けての指導を受けました。また10月31日に小学校屋内運動場建設委員会の委嘱状交付式を行いました。

建替えが待たれる小学校体育館

みんなの声

西桂町議会では、議会だよりを通じて町議会や町に望むこと、議会だよりを読んだ感想などを募集しています。
皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

小・中学校の体育館が耐震強度不足とのことですが、７月におこった中越沖地震のこともありますので、早急に対策をお願いいたします。

感想　待ちにまった議会だより
が８月13日に届き嬉しー
杯でした。今後もより内容
になるよう研修して下さい

国道139号線は朝夕の通勤ラッシュの渋滞はだんだんひどくなります。早く県道富士吉西桂線が出来ればいいですね。

◎町議会議員の人達の顔と
町をどのようにしたら良くなるのか
一人々の意見が短くまとまって
（アピール）
いてわかりやすく編集されていて
読みやすかったです。

７月７日のほたる祭りは、今年はほたるの数も多く飛んで盛況でした。
環境問題が指摘される中、ますますほたるが増えるように協力しましょう！！

プレゼントクイズ

クイズ正解者、感想・意見・写真提供者、のうち抽選で10名の方に、写真の手作り味噌にバナジウム水（各１ケ）を添えてプレゼントします。

問題：平成18年度西桂町一般会計決算歳出額は

答え：① 1,705,329,670円
② 1,745,592,771円
③ 1,836,047,140円

【ヒント：2ページ】

応募方法：①～③の答えの数字と住所、氏名、電話番号、議会だよりを読んだ感想や議会へのご意見を書いて、はがき、FAX、E-Mailにてご応募ください。
締切は12月５日（当日消印有効）です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒403-0022　西桂町小沼1501-1　西桂町議会広報編集委員会
TEL 0555-25-2121　FAX 0555-20-2015
E-Mail　gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

今号の賞品
「手作り味噌」と「バナジウム水」のセット

写真募集中
（採用された方には記念品を進呈）

地域で活躍する団体を訪ねて　その33

訪問先

フラ・プルメリア

フラ・プルメリアの皆さんと

〔取材　佐藤・相澤〕

問　団体名を教えてください。

皆さん　フラ・プルメリアです。プルメリアは花の名前です。

問　いつから活動をしているのですか。

皆さん　今年の5月から活動を始めました。

問　参加者数と活動内容を教えて下さい。

皆さん　会員数は14名です。YLO会館で毎週金曜日10時から練習をしています。

問　代表者と指導者のお名前は。

皆さん　代表者は、伊藤さん、指導者は、石田先生です。

問　今後の目標は。

皆さん　各種イベント等に参加したいです。

問　町行政に望むことは。

皆さん　フラダンスの発表の場をつくっていただきたい。

夏祭りでのフラダンス

毎週金曜日の練習風景

9月定例会日程

9月7日**議会運営委員会**
14日**本会議開会**
◇町長行政報告
◇町長議案一括上程（議案41～47、承認6～14）
一括説明
◇決算監査報告
一括質疑
各常任委員会付託
連合審査会
付託議案審査
21日**連合審査会**
付託議案審査
28日**本会議再開**
◇付託議案総務委員長報告（議案41～46、承認7～12）
◇付託議案建設文教委員長報告（議案47、承認6・13・14）
一括質疑・討論・採決
◇町長議案上程（同意7・8・9）
説明・質疑・討論・採決
◇一般質問

西桂フォトギャラリー

ソーレ、ソーレ！引っぱれ！！　～小学校運動会～

永遠の記憶　～中学校蛍水祭～

農業委員さんとの稲扱き　～小学５年生～

ご苦労様でした

退任された 郷田 盛直 氏

郷田前教育長には、平成16年10月に就任されて以来、３年にわたり、町の教育行政推進のためにご活躍されました。

この間、明るくたくましい西桂っ子の育成に努められるとともに、中学校テニスコート改修事業の推進、地域に開かれた中学校図書室の開放や児童生徒の防犯体制の強化などにご尽力され、小中学校体育館の耐震改修事業にも道筋をつけられ、教育行政の執行責任者として教育委員会を支え、その行政手腕は卓越したものがありました。本当に長い間、ご苦労様でした。

なお、後任には、川村奇子郎氏が就任いたしました。

（関連記事5ページ）

編集メモ

最近はテレビや新聞に、環境とかエコ等という言葉が出ない日がないほど、今、環境問題は私達の生活と切っても切り離せないものとなっています。

環境の変化は、直ぐには見えないものですが、早く気付き、問題の解決に取り組む必要があります。一人一人のできる行動は小さなものですが、小さな積み重ねが環境破壊を防ぎ、素晴らしい未来に引き継ぐ事になるのです。将来を担う子供たちにも綺麗な地球に戻してあげましょう。この議会広報は、町の皆様のご意見を尊重し作っていくものだと考えます。皆様の考えを是非お寄せいただき、より良いものを作っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

（佐藤）

編集委員長　鈴木　孝子
副委員長　佐藤　勝男
委員　勝俣　照雄
委員　相澤　力造
委員　滝口新一朗

発行人／西桂町議会議長　郷田　和美　　編集／西桂町議会広報編集委員会